

燃えない・燃え広がらないまちをめざして

北砂三・四・五丁目地区まちづくりニュース



第16号
平成30年11月

- ・商店街部会 …P.1-3
- ・住環境部会 …P.3-4
- ・防災活動部会 …P.4

発行：北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会

今年度のまちづくり協議会は、下部組織として「商店街部会」「住環境部会」「防災活動部会」の3つの部会を設置して、各部会で課題に応じた詳細な検討を進めています。

また、「商店街部会」「住環境部会」には、まちづくりの専門アドバイザーとして芝浦工業大学の志村秀明教授にご参加いただいています。

商店街部会

商店街部会は、砂町銀座商店街の「防災性向上」と「さらなる活性化」を目的に、商店街の将来あるべき姿を検討していくとともに、実現の為の具体策を検討する部会です。商店街関係者の有志や地域住民が部会員となり、アドバイザーとして志村教授に加え、中小企業診断士の鈴木隆男氏にもご参加いただき、検討を始めています。

砂町銀座商店街まちづくり模型展示イベント

平成30年9月27日（木）、9月29日（土）の2日間、商店街の貸店舗で開催し、2日間で合計327人の方にご来場いただきました。



学生が作成した模型(1/50スケール)



CCDカメラを用いた学生による模型説明の様子

商店街模型の展示では、志村研究室の学生が発見した商店街の魅力や課題を紹介し、来場された方にアンケートを行いました。

今回いただいたご意見を参考に、部会で議論を進めていきます。また、今後もイベント等を継続開催して、砂町銀座商店街のまちづくりを盛り上げていく予定です。

イベントで行ったアンケート調査の結果は、下記の区のホームページに掲載していますので、ご参照ください。

<https://www.city.koto.lg.jp/396101/machizukuri/toshi/jigyo/funenka/kyougikai.html>



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

第1回商店街部会

平成30年7月25日（水）に砂町文化センターで、第1回商店街部会を開催し、「砂町銀座商店街の魅力と課題」について議論を行いました。

初めに、アドバイザーの鈴木氏から商業の専門家から見た商店街の魅力と課題についてお話していただきました。次に、志村研究室の学生が作成した商店街の模型を使いながら、学生の視点で気づいた魅力と課題について発表がありました。その後、意見交換を行いました。

部会員からの主な意見

- ・コミュニティの強さが魅力
- ・空き店舗が目立つので、活用したい
- ・休憩所、駐輪所、トイレがあると良い
- ・商店街全体での結束力や交流が必要
- ・自転車のマナー啓発、歩行者の安全確保が課題



学生の発表の様子

第2回商店街部会

平成30年10月31日（水）に砂町文化センターで、第2回商店街部会を開催しました。

▶ 模型展示イベント振り返り・活性化に向けた取り組み

9月に開催した砂町銀座商店街まちづくり模型展示イベントについて、当日参加した部会員や志村研究室の学生を中心に、イベントの振り返りをしました。事務局からは、アンケートや魅力マップ等の結果報告として、イベントに参加した利用客や商店街関係者の方が商店街の魅力や課題をどのように捉えているのかの説明がありました。また、アドバイザーの鈴木氏からは、商店街の「活性化」に向けた課題の一つである空き店舗の活用について、取り組みの手法や事例などをお話していただきました。



鈴木氏による説明の様子

志村教授からのコメント

イベント当日は多くの来場者があり、部会員も増え、とても成果があった。アンケートについては、“利用客のほうが多く課題と捉えている項目”の対応を重視して考えていくべきだ。今後は、こうしたイベントや部会を積み重ねていくことが大切である。

▶ 防災の視点から見た商店街の現状と課題

事務局から「防災の視点から見た商店街の現状と課題」について説明がありました。その後、説明内容を基にして道路幅員や路上の商品置き場、駐輪場所、店舗の日除けの状況について、防災性の視点から議論しました。

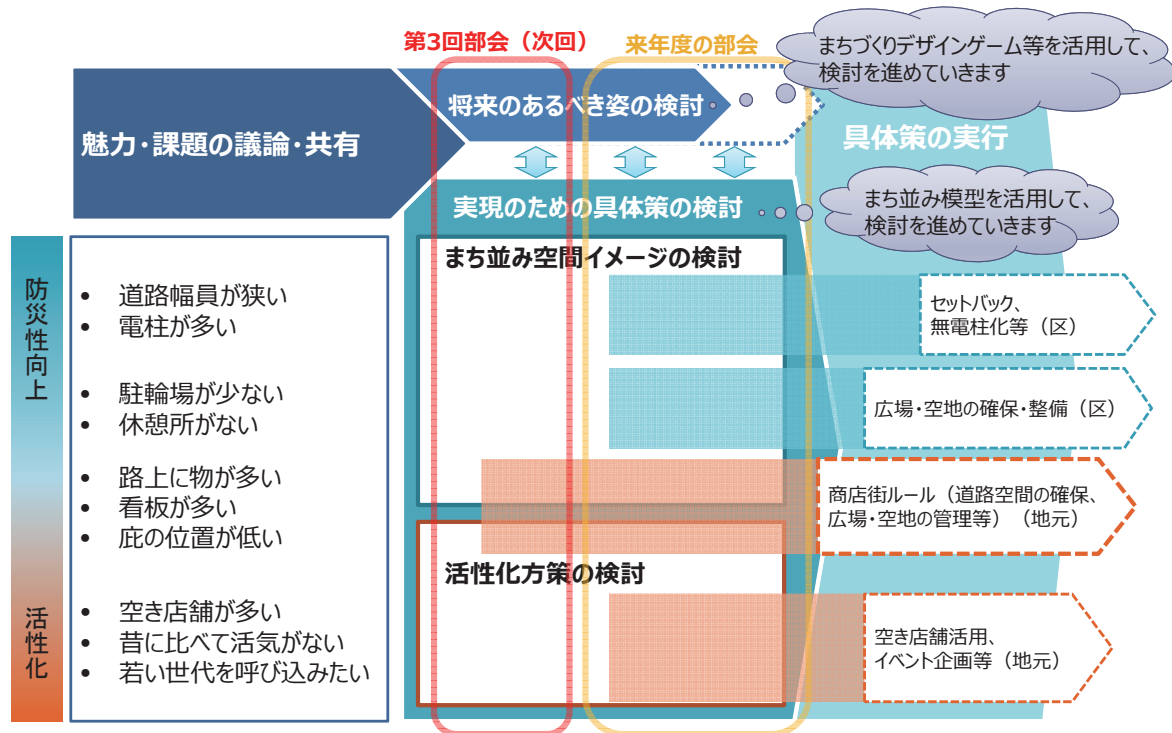
部会員からの主な意見

- ・商店街にアーケードをかける検討は約10年前にも行ったが、道幅が広がらなければ難しいということで実現しなかった。
- ・週替わり店舗は消費者にとっては目新しく意外性もあるが、店主が商店会に入らないためトラブル時に対応が難しい。
- ・今年の5月に東側でボヤ騒ぎがあったとき、小型の消防車が来て、道幅の狭さを痛感した。

▶ 商店街部会の今後の進め方

事務局から今後の進め方について説明がありました。次回の部会では、自転車や商品陳列店舗の日除け等について実施予定の現地調査結果を踏まえて意見交換を行う予定です。

今後の商店街部会は、魅力と課題を基にして将来あるべき姿の検討を始めていきます。あわせて将来あるべき姿の実現に向けた具体策について、江東区と意見交換をするとともに、商店街ルールの作成など自主的な取り組みについても検討を進めていきます。



住環境部会

住環境部会は、地区全体の住環境向上に向けた議論や提案を行う事を目的に活動している部会です。今年度は、江東区が導入を検討する「まちづくりルール」についての情報共有とエリアブランドの創出に向けて道路や公園のネーミングの検討を行います。

第1回住環境部会

平成30年6月27日（水）に砂町文化センターで、第1回住環境部会を開催しました。

▶ 地区計画の導入に向けて

現在、江東区が導入を検討しているまちづくりルール（地区計画）の進め方について、区から説明がありました。区がアンケートや説明会を実施し、地域の住民や権利者の意見を把握して、地域の実情に合ったルールを検討していくことを確認しました。

志村教授からのコメント

地区計画は、地区が目指す将来像を実現するための手法の一つで、法的拘束力があるため、地域の方々には丁寧に説明していくことが必要だが、それと並行して、このまちのあるべき姿を十分に検討することが重要だと思う。

一刻も早くルールを導入すべきだという意見もあったが、地域の方々との合意形成には時間がかかるため、地区計画を段階的に導入していくなどの方法もあるだろう。

▶ 道路名前付けワークショップ

防災性の向上とあわせて魅力ある道路環境づくりを進めていくことを目的に、地区内の道路に「歴史にちなんだ名前」を考えました。3班に分かれたワークショップでは、地域の歴史から考える道路の名前について様々な意見とアイデアを出しあいました。

今回出された名前は、12月に開催する次回の部会でまとめ、今後協議会で使用していく愛称名として、来年3月頃に皆様へお知らせする予定です。



ワークショップの様子

防災活動部会

防災活動部会は、災害時に強いまちを支えるコミュニティをつくるため、地域の防災意識を高め、防災活動を促進することを目的に活動しています。

第1回防災活動部会

平成30年9月12日（水）に砂町文化センターで、第1回防災活動部会を開催しました。

▶ 防災マップの作成

いざという時の災害に備えて、今年度、各町会が自主的に作成している防災マップの更新作業を行います。更新にあたっては、町会ごとにまち歩きなどを行って、事務局が配布したベース図に危険箇所や防災備品などの情報を追加・修正していきます。完成した防災マップは地区にお住まいの方に全戸配布して、今後の地域の防災活動に活用する予定です。

▶ 合同防災訓練

地域全体の防災に対する意識向上と地域コミュニティ醸成を目的に、協議会と北砂三丁目町会、北砂三・五丁目町会、北砂五・六丁目町会の合同防災訓練を、11月4日（日）に開催します。（詳細は、次号のニュースに掲載します。）

部会では、当日の実施内容を確認し、本部会アドバイザーのNPO法人プラス・アーツから、楽しみながら学ぶ防災についてご講演いただいた後、合同防災訓練で行う防災ワークショッププログラムの選定を行いました。



防災ワークショップ選定の様子

問い合わせ先

「北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会」事務局

■ 江東区都市整備部地域整備課不燃化推進係

電話：03-3647-9491 FAX：03-3647-9009 Email：tiikiseibi@city.koto.lg.jp

■ UR都市機構 東日本都市再生本部 密集市街地整備部企画課 北砂三・四・五丁目地区担当

電話：03-5323-0676 FAX：03-5323-0354

編集協力 江東区、UR都市機構